# (公社) 日本気象学会 沖縄支部だより

発行:日本気象学会沖縄支部事務局 〒900-8517 那覇市樋川 1-15-15 那覇第一地方合同庁舎 沖縄気象台防災調査課内

# 平成28年度日本気象学会沖縄支部研究発表会

平成29年3月2日の午後、名護市にある国際海洋環境情報センター(GODAC)において、平成28年度沖縄支部研究発表会を36名の参加で開催しました。

研究発表会(座長:高橋清和理事)では、琉球大学から6題、沖縄気象台、情報通信研究機構から各1題の計8題の発表があり、様々な知見を共有することが出来ました。また、発表の前には講演を設け、海洋研究開発機構(JAMSTEC)主任技術研究員の城岡竜一氏から太平洋パラオでの観測プロジェクトに関する貴重な話をいただきました。

発表の要旨は、以下の URL からご覧ください。 <a href="http://www.msjok.com/study/2016.pdf">http://www.msjok.com/study/2016.pdf</a>

#### 開会あいさつ (概要) : 大島広美 支部長

発表課題の予稿を拝見しましたが、研究にとってとても大事な問題意識を持って物事を見て、そ



の時に数少ない事実の中から、いかに自然の本来の姿を探求していくかというところに本当に苦労されている研究だと感じました。まさしく、沖縄の地域という非常に限られた観測データや、その

中で起こっている現象をいかに解明しようかとい う取り組みと共通する内容となってくるのではな いかという気がしました。

沖縄支部の発表会はアットホームな形での発表 会だと感じていますので、忌憚のないご意見、皆 さんの経験なり、知識なりを発表者に伝えていた だいて、研究内容がさらに発展していくようなディスカッションを期待します。

#### ○研究発表会の模様





### 閉会のあいさつ(概要): 山田広幸 理事

毎年研究発表会を行っていますが、面白いと思うのは、沖縄にいないと研究の着想に至らなかっただろと思うものがあることです。この沖縄では、現場主義的な研究にたくさんの課題が残されてい

ると思いますので、日々の天気を意識しながら見る、そして、そこから問題点を洗い出して研究するということを今後も続けていただきたいです。 そして来年もこの場で発表し、議論しながら新しいステップに移っていければと思います。

#### ○施設見学の模様

当日は研究発表会に先立ち、国際海洋環境情報センターの施設見学会を行いました。



# 報告:離島お天気教室

平成28年10月14日に与那国町立久部良小学校、 10月21日に北大東村立北大東小中学校、11月11 日に竹富町立大原小学校で離島お天気教室を行い しました。

#### ○久部良小学校

参加者:児童・生徒30名 教職員5名 昨年度に引き続き与那国島での実施です。はじめに、防災啓発ビデオ「急な大雨・竜巻・雷から身を守ろう!」を上映し、視聴後に先生の進行でビデオの内容について復習を行ないました。

続いて、竜巻、大気圧、熱気球、雲発生の各実験を行いました。児童・生徒は、目の前で起きている現象を不思議そうに眺めていました。熱気球の実験では児童数名が実際に放球し、上昇していく熱気球に大きな歓声が上がりました。



#### ○北大東小中学校

参加者:児童39名、生徒17名、教職員20名 小学生には5年生で勉強する雲の種類(十種雲 形)と雲の出来方を説明し、中学生には併せて台 風による災害や防災対策を説明しました。その後 の実験では、気圧と大気の状態について実験器具 に直接触れることで考え、また、地球温暖化につ いては身近な海水を用いた実験を通して考える機 会としました。実験の最中には、児童・生徒に加え、 教職員からの質問も多くあり、学校全体で楽しく 学んでいる姿が印象的でした。



#### ○大原小学校

参加者:児童40名、教職員・保護者10名 久部良小学校と同様のスケジュールで行いまし た。この日の熱気球は体育館の天井に着くほど高 く揚がりました。





# 報告:子ども気象学士教室

平成28年8月3日~5日にかけて、「子ども気象学士教室」を開催しました。受講生の児童16名と保護者を合わせた30名の参加がありました。



3日間の子ども気象学士教室では、最初の2日間で台風や大雨等の5つの講義を行い、講義が全て終了した後に認定試験を行いました。最終日は、NHK沖縄のお天気キャスター斎藤さんの講話「本物の気象予報士のはなしを聞こう!」、気象実験、そして緊張感漂う中での認定試験の結果発表を行いました。最後に子ども気象学士認定式を行い教室は終了しました。火山噴火モデル実験では、昨年同様に噴火の瞬間に大きな歓声が上がりました。





# 報告:離島防災気象講演会

石垣島地方気象台、自治体、沖縄県との共催で 防災気象講演会を行いました。この事業は、昨年 より離島お天気教室に併せて行っています。

#### ○10月13日 与那国島

場所:与那国町保健センター、参加:30名 講演者:伊藤耕介理事(琉球大学理学部助教) 演題:「台風の予報と防災」

2015年の最大瞬間風速81.1m/sの記憶が残る中、2016年も台風第16号(最大瞬間風速66.8 m/s)・17号(最大瞬間風速52.8 m/s)と立て続けに接近があり、台風接近直後の実施となった講演は、時期、内容ともにタイムリーなものとなりました。



#### ○11月10日 西表島

場所:西表離島振興総合センター、参加:30名 講演者:山田広幸理事(琉球大学理学部准教授) 演題:「気象ドップラーレーダーが捉えた台風の暴 風域」

参加者が消防団や公民館の関係者など各集落を 代表者する住民ということで、講演を熱心に聞き 入る様子が印象的で、質疑応答は予定時間を30 分近く超過するほど活発でした。



## 報告:気象サイエンスカフェ

平成29年1月21日に県立博物館・美術館内のおしゃれなカフェで、第1回気象サイエンスカフェin那覇「台風研究の最前線〜台風とのうまい"お付き合いのコツ"伝授します〜」を開催しました。ゲストに琉球大学の山田准教授を迎え、進行役はNHK沖縄のお天気キャスター斎藤さんが行いました。参加者は50名を越える盛況でした。



沖縄では初めての開催でしたが、北海道支部から頂いた資料を基に、スタッフで様々な検討し、できる限りの準備を行いました。

しかし、開催の前々日までは申し込み数が伸びず、広報の難しさを実感していたところ、開催前日に行われた NHK ラジオによる告知で申し込みが急増し、最終的には定員以上の参加で開催を迎えることができました。



始まってみれば、休憩中でも質疑応答がされる など、心配していた質問は数多く集まり、一般の 方と研究者が気楽に科学コミュニケーションをと る充実した時間となりました。

(共催:日本気象予報士会沖縄支部、沖縄気象台)

#### 報告:その他

○**防災気象講演会**(共催:沖縄気象台、沖縄県等)

日付:2017年1月25日

場所:県立博物館・美術館3階講堂

参加:160名

#### ○親と子のお天気教室(後援)

日付:2016年8月10日 場所:那覇市津波避難ビル

参加:270名

# 事務局からのお知らせ

#### ■「沖縄支部だより」への原稿募集

「沖縄支部だより」へ掲載する会員からの原稿を 募集しています。

沖縄支部会員の活動報告、気象知識の普及活動の状況、沖縄の気象に関する事例解析・統計調査など情報交換に役立つ原稿であればどのようなものでも結構ですので、支部事務局までご投稿ください。会員各位の自由な投稿をお願いします。

#### ■住所変更届のお願い

転居や転勤により登録情報に変更が生じた際に は、次の方法で手続きを行ってください。

○ご本人による手続き(オンライン申請)気象学会本部ページの「入会案内」ページ(以下 URL) にて登録情報の変更を行います。

http://www.metsoc.jp/about/join

【方法】気象学会本部ページの「入会案内」ページにおいて、「会員登録情報の変更」画面に入り、必要事項を記入の上、送信することで手続きは完了します。ご不明な点がありましたら事務局へお尋ねください。

#### ■メールアドレス登録のお願い

支部だより発行、総会などの開催通知等は支部 全会員に E-mail で配信しています。まだ登録され ていない会員の方は、会員氏名・番号、E-mail ア ドレスをご登録いただくようお願いします。

登録は、住所変更届と同様に「<u>会員登録情報の</u>変更」からのオンライン申請でお願いします。

#### ■日本気象学会への入会案内

みなさまの周りに気象学を専攻している・気象 関連の仕事をしている・気象に興味を持っている ような方がいらっしゃいましたら、日本気象学会 への入会をお勧めいただくようお願いします。支 部事務局へご連絡いただければ、入会方法などご 案内します。

連絡先:日本気象学会沖縄支部事務局 TEL:098-833-2186、FAX:098-833-4292